

- 問1 和歌山県のみなべ町周辺は、太平洋に面し背後に山地が広がる地形で、梅の生産量が日本一として知られています。この地域の傾斜地において、完熟して自然に落下した梅を傷つけることなく、効率的に回収するために行われている工夫として適切なものはどれですか。（2025年 長野県公立入試 類似）
1. 地面をコンクリートで固め、水で一箇所に流し込む
 2. 木を低く育て、大型の機械で一斉に枝を揺すって落とす
 3. 木の下に網（ネット）を張り、落ちた実を集める
 4. 山を階段状に削って平地を作り、トラクターで回収する
- 問2 三重県の志摩半島周辺で見られる「リアス海岸」という地形の記述と、そこでの産業の特色を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 海岸沿いに砂浜が続く平坦な地形で、水はけの良さを生かしてメロンなどの施設園芸が行われている。
 2. 川が運んできた土砂が河口に堆積してきた平坦な地形で、大規模な稲作や交通網の整備に利用されている。
 3. 海底が隆起してできた階段状の地形で、日当たりが良いためみかんなどの果樹園として利用されている。
 4. 岬と入り江が複雑に入り組んだ地形で、波が穏やかなため真珠などの養殖業に利用されている。
- 問3 京都市中心部の道路網は、道路が格子状に整然と張り巡らされた「碁盤の目」状の構造を持っています。このような都市構造が形成された歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 江戸時代の城下町形成において、商人が活動しやすいよう平坦な土地に商業区を集中させたため。
 2. 自然発生的に形成された集落が、山に囲まれた盆地の地形に合わせて直線的な道路で結ばれたため。
 3. 明治時代の近代化政策において、路面電車の線路を敷設しやすい直線を多用した区画整理が行われたため。
 4. 平安京の造営にあたり、中国の長安をモデルに、土地を管理しやすくするための「条坊制」が採用されたため。
- 問4 近畿地方南部に位置する紀伊山地は、日本でも有数の林業地帯として知られています。この地域の林業を取り巻く現在の状況と課題について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 林道などの交通網が未整備であるため、伐採した木材を運び出すコストが他地域より著しく高い。
 2. 大規模な都市開発によって森林の大部分が宅地化され、木材の生産量が急激に減少している。
 3. 安価な外国産木材の輸入による価格競争や、労働者の高齢化による後継者不足が深刻化している。
 4. 気候変動による乾燥化が進み、湿潤な環境を好むスギやヒノキが全く育たなくなっている。
- 問5 琵琶湖における赤潮の発生日数は、1970年代後半のピーク時と比較して、2000年代以降は数日程度にまで大幅に減少しました。この変化をもたらした主な社会的・制度的要因として最も適切なものはどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 高度経済成長期に建設された大規模ダムによる、湖水の流入量制限
 2. 滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進
 3. 琵琶湖の面積を拡大するための干拓事業の停止と自然保護区の指定
 4. 琵琶湖周辺における製造業の工場の全面撤退と、観光地化への転換
- 問6 フランスからの旅行者の訪問率を都道府県別に分析したデータにおいて、東京都や大阪府といった大都市圏のほかに、近畿地方の奈良県、中国地方の広島県、関東地方の栃木県、中部地方の岐阜県などで訪問率が高い傾向が見られます。これらの地域に共通する、外国人観光客を引きつける背景として最も適切なものはどれですか。（2016年 広島県公立入試 類似）
1. 世界文化遺産に登録された歴史的な建造物や街並みが存在すること
 2. 新幹線の全列車が停車するような大規模なターミナル駅を有すること
 3. 冬場の積雪量が非常に多く、スキーなどのスノーレジャーが盛んなこと
 4. 大規模な商業施設やテーマパークが集中していること
- 問7 近畿地方に位置する奈良県は、人口密度が1平方キロメートルあたり約370人であり、昼夜間人口比率が90.0%という統計上の特徴を持っています。このように昼間の人口が夜間の常住人口を下回っている要因として、最も適切な説明を選んでください。（2021年 秋田県公立入試 類似）
1. 広大な農地を所有する農家が多く、一世帯あたりの人数が他県に比べて極めて多いため。
 2. 大阪府などの隣接する大都市圏へ通勤・通学する住民が多く、ベッドタウンとしての性質が強いため。
 3. 観光資源が豊富であるため、宿泊客による夜間人口の増加が昼間の観光客数を上回っているため。
 4. 県内に大規模な工業地帯が形成されており、夜勤に従事する労働者が他県から流入しているため。
- 問8 近畿地方から四国地方への交通網において、兵庫県の神戸市、淡路島、そして徳島県の鳴門市を結ぶルート（神戸・鳴門ルート）が果たしている役割として最も適切なものを選択してください。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. 広島県から愛媛県にかけて点在する多くの島々を橋で結び、サイクリングロードなどの観光資源を提供している。
 2. 本州の岡山県と四国の香川県を鉄道と道路の両方で繋ぎ、瀬戸内海の物流の中心を担っている。
 3. 明石海峡大橋と大鳴門橋を介して、本州と四国を陸路で直結し、人や物の移動を効率化させている。
 4. 淡路島を通過して大阪府と和歌山県を最短距離で結ぶことで、紀伊半島の孤立化を防いでいる。
- 問9 日本の地方区分において、近畿地方に含まれる府県の構成とその境界に関する記述として正しいものはどれですか。（2021年 山口県公立入試 類似）
1. 三重県を含めた2府5県で構成されており、三重県と愛知県・岐阜県との間が中部地方との境界になる。
 2. 三重県を除いた2府4県で構成されており、滋賀県や奈良県と三重県との間が中部地方との境界になる。
 3. 大阪府と京都府の2府のみで構成されており、それ以外の周囲の県はすべて中部地方や中国地方に含まれる。
 4. 兵庫県から岡山県までの範囲を含めた2府6県で構成されており、兵庫県と岡山県の間が中国地方との境界になる。
- 問10 三重県の志摩半島に見られる複雑に入り組んだ海岸地形の名称と、その地域一帯に共通する気候の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
1. リアス海岸が見られ、夏季は季節風の影響で降水量が多い。
 2. 干拓地が広がっており、一年を通じて降水量が非常に少ない。
 3. 砂丘が発達しており、冬季は北西からの季節風により雪が多い。
 4. カルスト地形が見られ、夏季は南東からの季節風により乾燥する。
- 問11 近畿地方の産業構造において、文化財の存在が観光に与える影響を説明した次の文のうち、その因果関係を正しく説明しているものはどれですか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. 古都の景観や国宝などの文化財を保護・活用することで、国内外から観光目的の来訪者が集まり、宿泊利用においても観光客の比率を高めている。
 2. 文化財の数が多い地域では、景観保護のために宿泊施設の建設が制限されるため、結果としてビジネス客の割合が上昇している。
 3. 歴史的資源の豊富さと観光目的の宿泊者割合には直接の関連はなく、交通網の整備状況のみが観光客の割合を決定している。
 4. 重要文化財が多い府県では製造業が衰退しているため、代わりにスキーや海水浴などのレジャー客を誘致することで観光目的の宿泊者を増やしている。